

令和6年度第4回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和6年7月2日（火）13：29～14：40 教授会室

出席者： 井手理事長（議長）、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、須戸環境科学研究院長、山根先端工学研究院長、森下人間文化学研究院長、古株人間看護学研究院長、丸尾環境科学部長、徳満工学部長、市川人間文化学部長、伊丹人間看護学部長、澤野事務局次長、遠山委員、森委員

事務局： 真溪総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、小椋地域連携・研究支援課長、堀江高等専門学校開設準備室長、前田課長補佐、佐竹主任主事

議事に先立ち、理事長から令和6年度入学者選抜の出題誤りについて、お詫びがあった。

令和6年度第3回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、一部文言修正のうえ承認された。

審議事項

- 1 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポに対する本学の対応について
小泉教育・学生支援担当理事から資料に基づき説明があり、原案の通り承認された。
[主な意見・質疑等]
 - ・障スポの6日間全日程でのボランティア参加の協力依頼が知事からあったのか。
→6日間全日程での参加協力依頼である。
 - ・大会期間中全学を休講にするとして、15回の講義回数は確保するのか、それとも特例措置として講義回数を14回とすることを認めるのか。
→詳細は教務委員会での議論となるが、15回の講義回数は確保したいと考えている。
 - ・補講期間はすべて土日とするのか。
→今後検討する必要があるが、そうしなくても良いように、学園祭の開催・準備期間を従来4日としていたものを3日にするなどの案を検討している。
 - ・サポーター養成研修の日程は平日となるのか。
→オンデマンドでも可能と聞いている。本学において対面での研修を行う場合には、通常の講義の時間以外での実施を考えている。
 - ・研修については県や他大学と共通の内容か。
→基本的には共通の内容で実施されるものと考えている。

報告事項

- 1 令和6年度 公立大学法人滋賀県立大学特別表彰について
理事長より資料に基づき報告があった。

2 学生の退学・休学・復学・除籍について

小泉教育・学生支援担当理事より、資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・教授会承認日と退学日が逆転している学生がいるが、遡って承認したのか。
→昨年度内に申請はあったが、日程の関係で4月の教授会での承認となったものである。しかし、当該学生に関しては、前もって退学は分かっていたため、3月の教授会に諮るべきであった。

3 客員研究員の受入について

丸尾環境科学部長より資料に基づき報告があった。

4 障害者雇用の促進に向けた取組宣言について

真溪総務課長より資料に基づき報告があった。

5 『オープンキャンパス2024』の開催について

郡田教務課長より資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・開催日に参加できない場合、オンデマンドなどの対応はあるのか。また、開催日の変更は可能か。
→連絡があった場合には、個別に学内を案内するなど対応を行っている。
オンデマンド対応は今後検討する。いまからの開催日程の変更は難しい。

6 滋賀県立高等専門学校施設整備事業の進捗について

堀江高専開設準備室長より資料に基づき報告があった。

7 滋賀県立高等専門学校開校準備教員の公募について

堀江高専開設準備室長より資料に基づき報告があった。

8 各委員会等の結果の概要について

- (1) 令和6年度第3回、第4回将来構想委員会
- (2) 令和6年度第2回内部質保証推進委員会
- (3) 令和6年度第2回衛生委員会
- (4) 令和6年度第2回国際交流委員会
- (5) 令和6年度第2回入学試験委員会
- (6) 令和6年度第1回研究推進委員会

[主な意見・質疑等]

- ・相互派遣協定に基づく Exchange credits を利用すれば、本学の学生が JCMU で学んでも受講料の負担はないとのことだが、ミシガン州立大学連合の大学へ留学する際にクレジットが不足することはないのか。
→クレジットがかなり溜まっているため、支障ないと考えている。

その他

1 理系進路選択支援プログラムについて

真溪総務課長より資料に基づき報告があった。

[主な意見・質疑等]

- ・同プログラムのホームページの URL やメールアドレスが「rikejo」となっているため、女子限定と勘違いされないか。
→現在ホームページの改修を進めており、URL 等の変更も予定している。